

平成 18 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社テクノ菱和
代表者の 代表取締役 林 昭一郎
役 職 氏 名 会長兼社長
(コード番号 1965 東証第2部)
問い合わせ先 常務取締役 小杉 道夫
管理本部長
電 話 番 号 03-5978-2541

平成 19 年 3 月期 中間期および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 8 月 29 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の中間業績予想および平成 18 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 中間業績予想修正

(1) 平成 19 年 3 月期中間単体業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 18 年 8 月 29 日発表)	21,000	80	100
今回修正予想(B)	20,660	168	157
増減額(B - A)	△340	88	57
増 減 率	△1.6	110.0	57.0
前期(平成 18 年 3 月期中間)実績	17,723	105	3

(2) 平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 18 年 8 月 29 日発表)	22,700	125	120
今回修正予想(B)	21,780	167	154
増減額(B - A)	△920	42	34
増 減 率	△4.1	33.6	28.3
前期(平成 18 年 3 月期中間)実績	19,427	159	25

(3) 修正の理由

(中間単体業績)

売上高は、ほぼ予想通りに推移いたしましたが、経常利益ならびに中間純利益は、事業投資組合の投資利益分配が予想を上回ったことにより変動したものであります。

(中間連結業績)

売上高は、連結子会社の主要客先からの汚水処理関連電気工事の受注減少によるものであります。経常利益ならびに中間純利益は、中間単体業績に記載した理由によるものであります。

2. 通期業績予想修正

(1) 平成19年3月期通期単体業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月18日発表)	54,000	1,720	900
今回修正予想(B)	58,000	1,600	900
増減額(B-A)	4,000	△120	0
増減率	7.4	△7.0	—
前期(平成18年3月期)実績	51,054	1,627	821

(2) 平成19年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月18日発表)	57,200	1,820	940
今回修正予想(B)	61,000	1,700	940
増減額(B-A)	3,800	△120	0
増減率	6.6	△6.6	—
前期(平成18年3月期)実績	54,203	1,749	871

(3) 修正の理由

(通期単体業績)

売上高は、受注量が増加傾向に推移しておりますので、前回発表値に対して40億円の増加となる見込みであります。経常利益は、材料ならびに外注費等原価の高騰傾向および採算性の厳しい工事が多いことから前回予想を下回る見込みであります。当期純利益は、前回発表予想値から大きな変動なく推移する見込みであります。

(通期連結業績)

売上高は、通期単体業績の受注量は増加傾向にあるものの連結子会社の主要客先である汚水処理関連電気工事の受注減少もあり38億円の増加となる見込みであります。経常利益ならびに当期純利益は、通期単体業績に記載した理由によるものであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以上